



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月1日
上場取引所 東

上場会社名 ダイトエレクトロン株式会社
 コード番号 7609 URL <http://www.daitron.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前 績行
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 福嶋 圭一 TEL (06) 6399-5041
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	18,835	9.6	229	—	228	585.7	171	—
25年12月期第2四半期	17,191	△7.9	△25	—	33	△90.1	0	△99.6

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 137百万円 (△25.4%) 25年12月期第2四半期 183百万円 (△9.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	15.45	—
25年12月期第2四半期	0.06	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第2四半期	25,276	11,712	46.3	1,054.38
25年12月期	23,766	11,630	48.9	1,047.04

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 11,708百万円 25年12月期 11,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,700	8.0	500	260.6	500	97.9	280	—	25.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期2Q	11,155,979株	25年12月期	11,155,979株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	51,184株	25年12月期	51,170株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期2Q	11,104,796株	25年12月期2Q	11,115,344株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成26年8月6日（水）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。
当日使用する決算説明資料に関しては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済を概観いたしますと、米国では個人消費や住宅投資及び企業の設備投資が増加傾向にて推移しており、緩やかながら拡大傾向で推移しております。欧州では南欧においては鈍化しているものの全般的に緩やかな回復傾向にあります。また、中国をはじめとするアジア圏では、成長率の鈍化は見られるものの拡大傾向にて推移しております。

わが国経済におきましては、消費税増税や原油・原材料価格の上昇の影響が懸念されましたが、政府による経済政策や日銀による金融緩和策により企業収益の改善が見られるなど、概ね回復基調を維持しました。

当社グループの属しておりますエレクトロニクス業界におきましては、自動車関連、スマートフォンやタブレット端末及びその周辺機器関連などの分野を中心に生産活動が活発化しました。

このような状況下、当社グループは当連結会計年度を初年度とする第8次三カ年経営計画の4つの戦略テーマである「オリジナル製品の強化・拡大」「海外ビジネスの強化・拡大」「新規市場・顧客の開拓」「既存市場・顧客の深耕と横展開」に積極的に取り組んでおります。業績面につきましては前述のような経済環境の影響を受け、売上、利益共に改善いたしました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は18,835百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益は229百万円（前年同期は25百万円の損失）、経常利益は228百万円（前年同期比585.7%増）、四半期純利益は171百万円（前年同期は0百万円の利益）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

電子機器及び部品

当セグメントにつきましては、企業の生産活動の活発化に伴い、当社の主力商品である「電子部品&アセンブリ商品」のコネクタやハーネスが自動車関連市場及び半導体製造装置関連市場にて、また、「情報システム」の非接触ICカードシステムがアミューズメント関連市場にてそれぞれ好調に推移したことに加え、同じく「情報システム」のビデオ会議システムでも設備の更新需要により好調に推移したことにより、当セグメントの売上高は前年同期の実績を上回りましたが、利益面では各種展示会への出展等の販売促進活動強化や商品輸送コストの上昇により販売費及び一般管理費が増加したことから前年同期の実績を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は12,238百万円（前年同期比14.4%増）、セグメント利益（営業利益）は60百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

製造装置

当セグメントにつきましては、厳しい事業環境がしばらく続いておりましたが、企業の設備投資が回復傾向で推移していることから、当第2四半期連結累計期間には売上高に大きく寄与するまでに至っていないものの受注が大幅に増加しており、業績の回復に向けて明るい兆しが見え始めております。このような状況下、「電子材料製造装置」のシリコンウェーハ製造装置は厳しい状況にて推移しましたが、「LSI製造装置」のLSI製造装置がスマートフォンやタブレット端末等の生産設備の需要の増加に伴い概ね好調に推移したことにより、当セグメントの売上高は前年同期の実績を上回り、利益面につきましても損失額の圧縮につながりました。

この結果、当セグメントの売上高は3,489百万円（前年同期比6.6%増）、セグメント損失（営業損失）は46百万円（前年同期は92百万円の損失）となりました。

国内子会社

当セグメントにつきましては、電子機器及び部品事業を行っておりますダイトデンソー株式会社は、企業の生産活動の活発化に伴いハーネスアセンブリ等が好調に推移し、売上、利益共に前年同期の実績を大きく上回りましたが、製造装置事業を行っておりますダイトロンテクノロジー株式会社は、光デバイス製造装置関連のLED製造装置が伸び悩んだことにより、売上、利益共に厳しい状況にて推移しました。このような状況から当セグメントの売上高は前年同期の実績から下回りましたが、利益面では製造原価の見直しや販売費及び一般管理費の圧縮などにより前年同期の実績を大きく上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は1,043百万円（前年同期比8.7%減）、セグメント利益（営業利益）は159百万円（前年同期は13百万円の損失）となりました。

海外子会社

当セグメントにつきましては、大都電子（香港）有限公司は電子機器及び部品事業が好調に推移し、ダイトロン（マレーシア）SDN. BHD. では画像関連機器事業等が伸長したことにより業績が改善されました。しかしながら、ダイトロン、INC. では米国における鉄道車両向けハーネスの顧客の生産計画による一時的な売上減少により業績が伸び悩みました。このような状況から当セグメントの売上高は前年同期の実績からほぼ横ばいでの推移となりましたが、利益面では前年同期の実績を大きく下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は2,063百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益（営業利益）は28百万円（前年同期比45.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は20,130百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,639百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が1,253百万円、商品及び製品が303百万円増加したことによるものであります。固定資産は5,145百万円となり、前連結会計年度末に比べ128百万円減少いたしました。これは有形固定資産が51百万円、無形固定資産が43百万円、投資その他の資産が33百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は25,276百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,510百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は11,488百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,374百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1,685百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,075百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円増加いたしました。これは主に退職給付引当金が69百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は13,564百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,428百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は11,712百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が116百万円増加し、為替換算調整勘定が32百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.3%となり、前連結会計年度末との比較で2.6ポイント低下いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度末と比較して87百万円減少し、5,493百万円となりました。

当第2四半期連結結果計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は137百万円の増加（前年同期は393百万円の増加）となりました。主な増加要因は、仕入債務の増加額1,713百万円であり、主な減少要因は、売上債権の増加額1,458百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は46百万円の減少（前年同期は78百万円の減少）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出60百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は152百万円の減少（前年同期は234百万円の減少）となりました。主な減少要因は、長期借入金の返済による支出161百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済の見通しにつきましては、国際的な紛争事案等による世界経済への影響や原油・原材料価格の上昇の影響に加え、新興国諸国における経済の成長率が鈍化傾向となっていることによる輸出産業への影響等により、依然先行き不透明な状況が続いてはおりますが、企業の設備投資は増加傾向にあり、引続き緩やかな拡大傾向で推移するものと予測されます。

このような事業環境を踏まえて当社グループでは平成26年2月6日公表の「平成25年12月期 決算短信」に記載の通期業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日平成26年8月1日公表の「平成26年12月期 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

また、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。今後、業績予想に関して修正の可能性が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,611,441	5,523,543
受取手形及び売掛金	9,009,210	10,262,534
電子記録債権	945,276	1,126,188
商品及び製品	1,366,500	1,669,518
仕掛品	743,521	906,322
原材料	222,179	299,350
その他	594,358	345,240
貸倒引当金	△904	△2,099
流動資産合計	18,491,584	20,130,598
固定資産		
有形固定資産	3,332,978	3,281,443
無形固定資産	146,578	102,893
投資その他の資産		
その他	1,831,125	1,828,184
貸倒引当金	△36,163	△66,977
投資その他の資産合計	1,794,961	1,761,207
固定資産合計	5,274,518	5,145,544
資産合計	23,766,103	25,276,143
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,642,959	9,328,341
短期借入金	100,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,039,970	878,630
未払法人税等	97,284	127,892
賞与引当金	49,666	55,970
その他の引当金	38,431	45,228
その他	1,145,460	852,465
流動負債合計	10,113,772	11,488,527
固定負債		
退職給付引当金	1,758,353	1,828,049
資産除去債務	46,862	47,216
その他	216,557	200,301
固定負債合計	2,021,773	2,075,567
負債合計	12,135,546	13,564,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,200,708	2,200,708
資本剰余金	2,482,896	2,482,896
利益剰余金	6,691,248	6,807,288
自己株式	△19,329	△19,335
株主資本合計	11,355,523	11,471,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	330,905	329,515
繰延ヘッジ損益	118	△532
為替換算調整勘定	△59,357	△91,858
その他の包括利益累計額合計	271,667	237,124
少数株主持分	3,366	3,366
純資産合計	11,630,556	11,712,048
負債純資産合計	23,766,103	25,276,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	17,191,789	18,835,311
売上原価	13,567,977	14,887,850
売上総利益	3,623,811	3,947,461
販売費及び一般管理費	3,649,116	3,717,869
営業利益又は営業損失(△)	△25,304	229,591
営業外収益		
受取利息	3,365	3,206
受取配当金	6,446	8,147
為替差益	52,218	—
保険配当金	10,806	11,095
雑収入	17,094	21,265
営業外収益合計	89,932	43,715
営業外費用		
支払利息	20,844	16,460
手形売却損	2,366	2,648
為替差損	—	18,896
雑損失	8,157	7,260
営業外費用合計	31,369	45,265
経常利益	33,258	228,042
特別利益		
固定資産売却益	232	18,957
投資有価証券売却益	421	—
特別利益合計	653	18,957
特別損失		
固定資産除売却損	347	140
特別損失合計	347	140
税金等調整前四半期純利益	33,564	246,859
法人税、住民税及び事業税	95,772	129,622
法人税等調整額	△62,823	△54,327
法人税等合計	32,948	75,295
少数株主損益調整前四半期純利益	615	171,563
四半期純利益	615	171,563

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	615	171,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	145,132	△1,390
繰延ヘッジ損益	△12,286	△651
為替換算調整勘定	50,212	△32,501
その他の包括利益合計	183,058	△34,543
四半期包括利益	183,674	137,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183,674	137,020
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	33,564	246,859
減価償却費	206,736	148,890
受取利息及び受取配当金	△9,812	△11,354
支払利息	20,844	16,460
固定資産除売却損益 (△は益)	114	△18,817
投資有価証券売却損益 (△は益)	△421	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△591,547	△1,458,342
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△291,569	△551,760
前渡金の増減額 (△は増加)	△285,742	265,398
仕入債務の増減額 (△は減少)	966,548	1,713,767
前受金の増減額 (△は減少)	599,416	△223,228
引当金の増減額 (△は減少)	56,865	82,630
その他	△35,965	31,551
小計	669,032	242,055
利息及び配当金の受取額	11,026	11,127
利息の支払額	△21,568	△16,341
法人税等の支払額	△265,183	△98,974
営業活動によるキャッシュ・フロー	393,307	137,866
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△74,088	△60,123
有形固定資産の売却による収入	731	34,514
投資有価証券の取得による支出	△9,989	△9,996
投資有価証券の売却による収入	10,115	—
その他	△5,283	△10,815
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,514	△46,421
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△161,340	△161,340
配当金の支払額	△111,133	△55,812
その他	△61,625	△35,231
財務活動によるキャッシュ・フロー	△234,098	△152,383
現金及び現金同等物に係る換算差額	67,934	△26,959
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	148,628	△87,897
現金及び現金同等物の期首残高	5,718,734	5,581,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,867,363	5,493,543

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器 及び部品	製造装置	国内子会社	海外子会社	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	10,700,647	3,273,191	1,143,001	2,074,948	17,191,789	—	17,191,789
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	435,039	121,369	1,957,894	37,653	2,551,955	△2,551,955	—
計	11,135,686	3,394,561	3,100,895	2,112,602	19,743,744	△2,551,955	17,191,789
セグメント利益 又は損失(△)	61,144	△92,104	△13,731	53,305	8,614	△33,919	△25,304

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△33,919千円には、セグメント間取引消去36,377千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△70,296千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器 及び部品	製造装置	国内子会社	海外子会社	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	12,238,425	3,489,557	1,043,910	2,063,418	18,835,311	—	18,835,311
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	500,657	103,518	2,060,273	72,029	2,736,479	△2,736,479	—
計	12,739,082	3,593,076	3,104,184	2,135,448	21,571,791	△2,736,479	18,835,311
セグメント利益 又は損失(△)	60,200	△46,265	159,444	28,943	202,322	27,269	229,591

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額27,269千円には、セグメント間取引消去40,918千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△13,649千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。